

令和3年度 さいたま市立新和小学校 学校運営協議会による評価書

さいたま市立 新和小 学校  
学 校 運 営 協 議 会  
会長氏名 若 谷 富 雄

学校運営協議会による評価（協議会の委員の意見等）

○令和3年度の教育活動について

- ・コロナ禍の中での教育活動は大変な苦労があったかと思う。
- ・オンライン授業が進み、教師も児童も馴染んできている面もあるが、内容がまだ不十分な面もある。保護者の理解と協力を得たりしていくことがより一層必要になると考える。
- ・いじめの問題に対して、きめ細やかな対応をしている様子で児童も安心して登校することができているように思う。
- ・小規模校の特性を生かし、職員の総力を結集した学校運営により多くの成果が収められたことに敬意を表する。
- ・学びについて「よい授業」のポイントや保護者アンケートからよい結果が得られたことは素晴らしいことである。一方で全国や市の学力調査の結果も知りたい。
- ・教職員のサービスでは、一人ひとりの働き方や業務改善の意識が高まってきている。これからも心身の健康を守り、職務への高い意識をもった新和小教職員であってほしい。

○令和4年度の学校運営方針について

- ・町たんけんやくわい栽培、田植えや稲刈り等、地区の特徴を生かした運営方針でよい。他では味わえない貴重な体験ができる。
- ・教職員のライフ・ワークバランスが大切である。家庭や地域と良好な関係性を生かした連携・協働・分担で新和小ならではの取組を続けてほしい。
- ・自立した子どもの具体像を追究してほしい。また、主体的で対話的な学びの実践とともに学習規律を徹底を図ってほしい。
- ・これからもITの活用を止めずに進めていってほしい。
- ・児童同士のコミュニケーションを大切にされた教育活動を進めてほしい。

学校運営協議会による評価を受けた学校の対応

- 引き続きエバンジェリストを中心に新和小GIGAスクール構想を進めていく。各家庭と連携し、よりよい一人1台端末を活用した学習を充実させる。
- 体験活動・食育等、地域の特性を生かした新和小ならではの教育活動を進める。
- STEAMS教育の開始、プログラミング教育の本格実施、教科担任制の推進等を進め、教職員の指導力向上に努める。
- 学校運営協議会を十分に機能させ、学校・家庭・地域の連携を一層強めていく。

校長氏名 三村 美延

備考 A4用紙1枚程度に簡潔にまとめ、教育委員会に写しを提出してください。